

一般質問での議員からの提言及び市当局の答弁



	政策的提言	提言要旨	当局の考え
1	ご当地ナンバー(デザインプレート)の導入について	ご当地ナンバーは地域の特性を活かしたデザインにより、観光振興や名物の知名度向上に資するものと考えられることから、観光立市を掲げる本市でも導入すべきと考える。	平成29年度に市制施行70周年記念事業として導入できるように先進地調査など具体的に組みたい。
2	災害等に関する本市の救済制度について	小災害り災者見舞金の制度が適用されない被害について、石垣市独自で無利子の貸し付けなどはできないか検討すべきと考える。	税金の減免措置など制度の拡充と、新しい制度の創設については関係課と協議しながら調査研究していきたい。
3	漁業担い手育成プラン事業について	与那国町では一括交付金を活用し、漁業担い手育成プラン事業を実施している。本市においても漁業者を支援するためにも導入を検討すべきと考える。	本市においても支援事業導入のため採択要件を確認し、漁業者のニーズを勘案しながら検討したい。
4	市営プールの建て替えについて	供用開始から28年が経過し、老朽化が著しい市営プールを市民の要望に応え、年間を通して使用できるプールへの更新計画を立てるべきと考える。	劣化状況調査を行った結果、施設改築の緊急度は低い状況にあるが、様々な団体の意見や市民ニーズに応じた施設計画を検討したい。
5	北西部地区における中学校の特別支援学級について	県公立小中学校特別支援学級設置要綱では、北西部地区の生徒数では設置できないことから、現状を改善する必要があると考える。	できるだけ地域の学校の中に特別支援学級があることが望ましい。県に現状と課題を報告し、設置基準の弾力的運用について理解を求めている。
6	石垣市役所の障がい者雇用状況について	採用試験にも障がい者枠を設けており、障がい者雇用率も達成しているが、今後さらに障がい者枠を拡大する予定はないか。	平成24年度の採用試験から障がい者枠を導入したが、申し込み者数が多くないのが現状である。さらに周知を図りたい。
7	英語検定、数学検定等の各種受験への受験料の助成について	学力向上や大学受験の際のメリット等を考えると、受験料の助成を行い、多くの生徒の受験を促す必要があると考える。	学力向上の観点から各種受験への取り組みについては奨励したい。他市町村の状況を調査し、関係課と調整しながらどのような助成が可能か検討したい。
8	石垣小学校の建て替えに伴う校区内の幼稚園統合について	みやまえ・みやとり幼稚園の安心・安全な保育環境を考えると、小学校に統合すべきとの意見がある。建て替えの際に統合移転すべきと考える。	来年度に立て替え基本計画検討委員会を設置し、みやまえ・みやとり幼稚園の統合移転についても検討したい。また、公民館の課題についても地域と協力して進めていきたい。
9	児童虐待防止対策について	相談件数では表れない、児童相談所窓口までつながらない潜在的なケースがあり、早期発見・早期対応が重要だと考える。	虐待があった場合は48時間以内に訪問・確認している。また疑われる場合でも、迅速な通報を呼びかけており、今後とも通報ダイヤルの周知啓発を図りたい。
10	国立自然史博物館誘致について	国際的観光スポットとして、または地域の教育機関としての機能が期待できる国立自然史博物館を、本市へ誘致するため全庁的に取り組む必要があるのではないかと考える。	誘致については今年度の市長の施政方針にも掲げている。有志の皆さんが誘致に向け動いているが、行政もタイアップして、あらゆるルートを通じて取り組んでいきたい。
11	新空港アクセス道路の進捗状況について	用地取得状況や進捗状況が見えない状況にある。県の事業であるが、本市が協力して進めるために窓口を設置してはどうか。	県と連携・調整をしながら、必要があれば新空港アクセス道路連絡協議会などを設置し、早めに建設できるように組みたい。
12	電線類地中化について	国道390号、白保・宮良・大浜の区間においても、観光地の景観形成だけでなく防災・安全面においても電線類地中化が必要であると考える。	本市の都市計画マスタープランにおいて電線類地中化を推進し、景観形成や自然災害の防止を図ると記載されている。今後とも県と調整をして進めていきたい。
13	リサイクルプラザ等について	モノを循環させることでごみの量を抑制し、高齢者の雇用創出にもつながるリサイクルプラザ等の施設が必要だと考える。	必要性は感じている。平成29年度の一般廃棄物処理計画の見直しの際に検討項目になる可能性があると考えている。